BAUHAUS TASTE · BAUHAUS KITCHEN

1919年、ドイツ、ヴァイマールに誕生したバウハウス。

「すべての造形活動の最終目的は建築である」という理念のもと、自己の表現だけに偏らず技術的な力も備えた芸術家を育てることを目的とした教育が施されました。設立当初は表現主義的で合理的な側面を持ち合わせていましたが、その後、合理主義的な一面は保ちながら機械工業との融合を目指す大量生産を目的とした方向へと転換、モダンデザインの先駆者として現在までその名をとどろかせることになります。

一方、近代ヨーロッパでは、家庭や社会における女性のありかたが大きく変化しました。フェミニズムが社会的潮流となり、社会生活での立場、権利、役割といったものが根本的に見直されるようになっていましたが、1920年代から第二次世界大戦にかけての家庭生活の現場では、女性の労働を少しでも改善しようとする道具、家具、機器、デザインが次々と開発され、現在にまで繋がる合理的生活スタイルの原型が提案されたのです。機能的で無駄のないデザインから男性的であると捉えられることも多いバウハウスですが、織物工房の学生のほとんどが女性であったり、女性のライフスタイルを紹介する雑誌 "die neue linie" と関係したりするなど、女性躍進にも一役買っています。そういった動きの中で、バウハウスは女性を家事労働から解放するための、新たなキッチンとその周辺器具も提案していました。

本展では、そのようなバウハウスのキッチン関連の作品を紹介し新しいデザイン、新しい女性像、新しい生活様式の歴史的意義を問い直そうとするものです。「キッチン」という身近なテーマにスポットライトを当てた今回の展覧会では、女性をはじめとした幅広い層の方々に、バウハウスの理念や理想に親しんでいただく絶好の機会となるでしょう。

1

2

3

4

表面左より | ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト《ティーウォーマー》1929-30年 / ヨーゼフ・アルバース《サーバー付サラダ皿》1924-25年 / ヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルト《卓上ランプ》1924年 / オットー・リンディッヒ《ティーポット》1923年 / マルガレーテ・ライヒャルト《バウハウス服》1928年頃 / テオドール・ボーグラー《モカマシーン》1923年 / マルセル・ブロイヤー《学生食堂のためのイス》/ マリアンネ・ブラント《砂糖入れとクリーマー(一部)》1924年頃 / マリアンネ・ブラント《砂糖入れ》/ ゲルハルト・マルクス《ティーサービス》/ ヒン・ブレンディック《ホルダー付ガラス製コップ》1929年 / 《バウハウスの女子学生(一部)》/ 《バウハウスの女子学生》すべてデッサウ・バウハウス財団蔵

裏面 | 1, リス・ヴォルゲルト《バウハウス服》1928年 / 2, ゲルハルト・マルクス《コーヒーメーカー》1925年頃 / 3,[フィルム]《バウハウス建築、マイスターハウス》/ 4, ルチア・モホリ=ナジ[写真]《グロピウス邸のキッチン》すべてデッサウ・バウハウス財団蔵

●講演会

「新しい建築、新しい人間、バウハウスのキッチン」トルステン・ブルーメ（デッサウ・バウハウス財団研究員、本展監修者）
9月18日（土）午後1時30分～3時、パナソニック電工東京本社ビル5階ホール　定員150名（参加無料）

●デザイナーによるギャラリートーク

「担当デザイナーが語るバウハウス・キッチンが目指したもの」渡辺雅純（パナソニック電工株式会社デザイン部）
10月23日（土）午後2時～　参加無料（入館には展覧会観覧券が必要）、申込不要
マイスターキッチンの再現に携わった担当デザイナーが、調査内容を含め、かつてバウハウス・キッチンが何を目指そうとしていたのか、当時の背景とその試みについて解説します。

●学芸員によるギャラリートーク

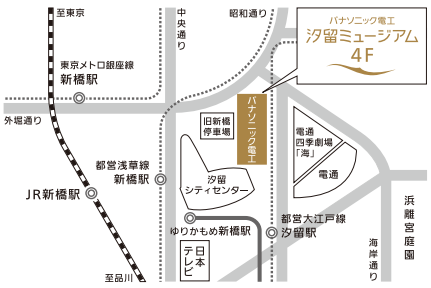
10月9日（土）、11月6日（土）、12月11日（土）
いずれも午後2時～　参加無料（入館には展覧会観覧券が必要）、申込不要

●トリプルワイドIHでドイツレシピをアレンジ！

当ビルB2F～1Fのパナソニックリビングショールームとの連動イベントを開催。最近のキッチンでドイツ菓子をご紹介します。
9月18日（土）、19日（日）、20日（月・祝）午後1時～5時 予約不要。随時ショールームにお越し下さい。
10月9日（土）、10日（日）、11日（月・祝）、11月20日（土）、21日（日）にも開催予定。詳細は決定しだいホームページやハローダイヤルでご案内します。

なお、ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧下さい。

次回予告　**白井晟一展**　2011年1月8日（土）－3月27日（日）



Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY
パナソニック電工 汐留ミュージアム

東京都港区東新橋1-5-1　パナソニック電工ビル4階
お問い合わせ：ハローダイヤル　03-5777-8600
http://panasonic-denko.co.jp/corp/museum
JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩3～5分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩1分

デッサウ・バウハウス財団　http://www.bauhaus-dessau.de/